

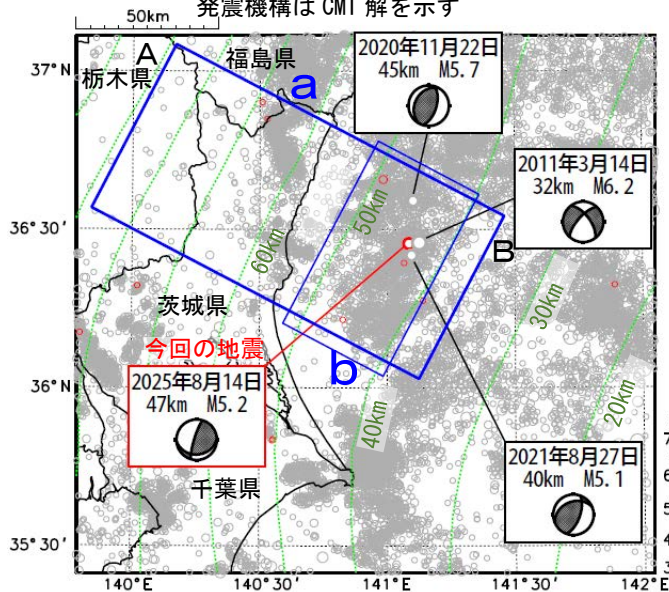
## 8月14日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2025年8月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$ )

2025年8月の地震を赤色で表示

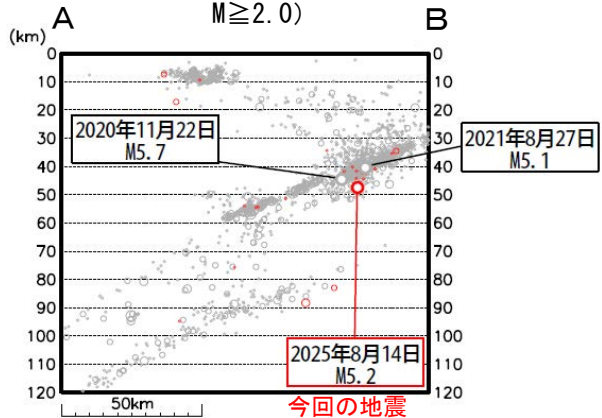
発震機構はCMT解を示す



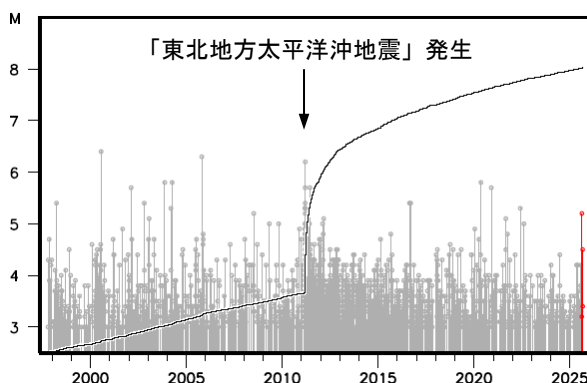
震央分布図中の緑色の破線は、弘瀬・他 (2008) による太平洋プレート上面のおおよその深さを示す。

領域a内の断面図 (A-B投影)

(2020年9月1日～2025年8月31日、  
 $M \geq 2.0$ )



領域b内のM-T図及び回数積算図



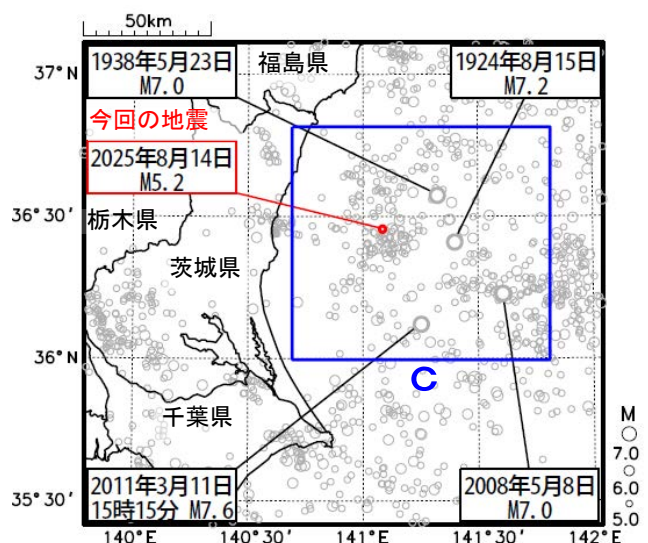
2025年8月14日04時13分に茨城県沖の深さ47kmで $M 5.2$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生以降、地震の発生数が増加した。2011年3月14日には $M 6.2$ の地震 (最大震度5弱) の地震が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。1938年5月23日に発生した $M 7.0$ の地震では、家屋一部破損250棟等の被害 (被害は「駿震時報第10巻」による) のほか、福島県いわき市小名浜で83cm (全振幅) の津波が観測された。また、2011年3月11日15時15分に発生した $M 7.6$ の地震 (最大震度6強) は、「東北地方太平洋沖地震」の最大余震である。

震央分布図

(1919年1月1日～2025年8月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図

